

## 学級担任による理科授業, 理科専科による理科授業, それぞれの長所, 短所 に関する学級担任, 理科専科教員の意識の違い

○林 康成<sup>A</sup>, 三崎 隆<sup>B</sup>

HAYASHI Yasunari, MISAKI Takashi

信州大学大学院教育学研究科<sup>A</sup>, 信州大学学術研究院教育学系<sup>B</sup>

【キーワード】 小学校, 学級担任, 理科専科, 理科を教えるよさ, 理科授業

### 1 はじめに

小学校における理科教科担任制(いわゆる理科専科)の実施状況は,平成16年の20%前後から平成25年には40%前後に増加している<sup>1)</sup>。この原因として考えられることは,「平成20年度小学校理科教育実態調査」<sup>2)</sup>から,学級担任として理科を教える教員の約半数は,実験準備時間の不足や,研修機会の不足によって,理科の指導に苦手意識を感じているとの報告である。そのため,理科専科が,理科を教えるよさが注目されがちであるが,松瀬(2008)は,学級担任が教えるよさを子どもひとり一人の実態,クラス集団としての実態をふまえた授業構成ができることであるとしている<sup>3)</sup>。さらに,山極(2008)は,学級担任が教える理科,理科専科が教える理科のどちらがよいではなく,それぞれのよさをうまく融合させながら工夫することが必要としている<sup>4)</sup>。より良い理科授業において理科専科と学級担任の協力は不可欠である。

学級担任による理科授業(以下,担任理科とする),理科専科による理科授業(以下,専科理科とする)における長所,短所に関するそれぞれの立場の教員の意識の違いが分かれば,担任理科と専科理科のよさが融合されるための今後の授業改善に資する基礎資料になると考えられる。

本研究では,担任理科,専科理科における長所,短所に関する学級担任,理科専科教員の意識の実態を明らかにすることを目的とする。

### 2 研究方法

#### (1) 調査期間

平成27年5月～8月

#### (2) 調査方法と調査対象者

質問紙による調査を行い,小学校の学級担任245名,理科専科59名を調査対象者とした。

#### (3) 質問紙

本研究では,担任理科の長所,短所それぞれ4項目計8項目を作成した。専科理科においも同様に作成した。各項目では,それぞれの質問項目に対して,5つの選択肢を作成し,最も当てはまる箇所を調査対象者が選択した。

#### (4) 分析方法

それぞれの選択項目について5つの選択肢のうち「そう思う」、「やや思う」の選択肢を選択した回答を肯定的回答とし,「どちらでもない」、「あまり思わない」、「思わない」の選択肢を選択した回答を否定的回答とした。

全16項目について学級担任と理科専科の間で,肯定的回答,否定的回答をした人数について2×2のクロス表を作成し,Fisherの直接確率計算によって出現確率を求めた。

### 3 結果

Fisherの直接確率計算の結果,担任理科の長所「授業計画に柔軟に変えられること」に対する学級担任と理科専科の間で,5%有意水準で統計的に有意差が認められた( $p=.000, p<.05$ , 両側検定)。担任理科の長所に対して,学級担任の否定的回答が有意に多く,意識の違いが見られた。同様に,学級担任と理科専科の間で,意識の違いが見られた項目は,全7項目であった。

担任理科の短所では,「専門性の低さ」( $p=.000$ )で,学級担任の肯定的回答が有意に多く,「異なるクラスで教える機会がないこと」( $p=.010$ )で,理科専科の肯定的回答が有意に多かった。

専科理科の短所では,「専門的な内容にこだわってしまうこと」( $p=.0272$ )で,学級担任の否定的回答が有意に多く,「他教科とのバランスがとれた授業ができないこと」( $p=.022$ )で,学級担任の否定的回答が有意に多く,「条件の良い授業計画に柔軟に変えることができないこと」( $p=.000$ )で,理科専科の肯定的回答が有意に多く,「子どもの実態や意識に寄り添った授業ができないこと」( $p=.020$ )で,学級担任の否定的回答が有意に多かった。(いずれも $p<.05$ , いずれも両側検定)

学級担任は,担任理科の長所「授業計画に柔軟に変えられること」に否定的であり,担任理科の短所「専門性の低さ」に肯定的である。また,専科理科の短所「専門的な内容にこだわってしまうこと」,「他教科とのバランスがとれた授業ができないこと」,「子どもの実態や意識に寄り添った授業ができないこと」に否定的である。

理科専科は,担任理科の短所「異なるクラスで教える機会がないこと」に肯定的であり,専科理科の短所「条件の良い授業計画に柔軟に変えることができないこと」に肯定的である。

### 引用・参考文献

- 1) 文部科学省(2014):「平成25年度公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果について」, [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1342497.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1342497.htm) (2014, 9.10).
- 2) 科学技術振興機構(JST), 国立教育政策研究所共同調査(2008):「平成20年度小学校理科教育実態調査集計結果(速報)」, <http://www.jst.go.jp/pr/announce/20081120/> (2014, 9.10)
- 3) 松瀬歩:「担任理科」のよさ,『理科の教育』2月号, vol.57, No.667, 2008
- 4) 山極隆:「小学校理科教育の充実を目指して」,『理科の教育』2月号, vol.57, No.667, 2008
- 4) 松瀬歩:「担任理科」のよさ,『理科の教育』2月号, vol.57, No.667, 2008